

## 「現行里親制度の普及拡大は、本当に里親里子を幸せにするか」

2031047 小松鈴音（隈本ゼミ）

### 要約

日本の里親制度の普及率は、他の欧米先進国に比べて低いことから、国は、メディア企業等とともに有名人を使った CM などを展開し強力に普及活動を進めている。一方で実務を担う児童相談所は、旧来からの組織体制を引き継いでおり、人員不足などが指摘されている。

そうした現行の里親制度を、このまま普及拡大していくことは、里親里子にとって本当の幸せにつながるのか、問題点はないのかという点を検証した。検証方法としては、児童相談所、乳児院の現場の担当者への聞き取り調査と、里親経験者のインタビューから得られた知見を、現在メディアなどを通じて行われている宣伝・広報内容と比較し検討した。

結果として、里子を養育することには特有の困難を伴う場合があり、それに対して現状行われている事前研修や、里親になってからの支援体制には不十分な点があることがわかった。またメディアを通じた宣伝・広報の中では、そうしたリスクについてはほとんど伝えられていないことも併せて判明した。

今後の改善策として、里親希望者に事前にリスクを正しく伝えること、また里親になった人への支援相談体制のさらなる充実が必要であると指摘した。